



令和6年 木曽地域 県政おもなできごと

令和6年中の木曽地域における『県政おもなできごと』を、次のとおり取りまとめました。

【通年】

☆御嶽山噴火 10年の節目

平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火災害から10年の節目を迎え、御嶽山火山防災協議会を中心に防災訓練や県内外での安全登山啓発を行いました。

また、11月30日にこれまでの火山防災の進展状況や今後について考えるシンポジウムをNPO法人日本火山学会と共催しました。



【1月】

☆すんきの県外PR

1月21日に、東京都にある長野県のアンテナショップ「銀座NAGANO」において、木曽地域の伝統食「すんき」のPRイベントを実施しました。

イベントでは、すんきを中心に木曽の食材をふんだんに使用したランチとディナーを提供したほか、事業者による物販や、すんき等の試食・試飲を行いました。



【2月】

☆ドローンによる配送実証実験

王滝村において、災害時の救援物資輸送等の速やかな支援活動などに資するため、ドローンを活用した長野県内で初となるレベル3.5飛行（飛行経路下に歩行者等がない無人地帯であることをデジタル技術の活用(機上カメラ)によって確認することで、立入管理措置を代替し、経路を特定したうえで行う飛行）での配送実証実験が行われました。



☆一般財団法人地域活性化センターとの連携協定の締結

木曽広域連合及び木曽郡6町村の、地域資源や特性を活かした地方創生を担う人材育成を強力にサポートしていただくことを目的として、連携協定が締結されました。

☆農業の魅力発見を伝えるセミナー開催

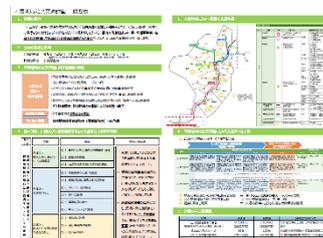
2月から11月にかけて3回、農業や食に関する理解を深めてもらう事等を目的とした「農業の魅力発見セミナー」を木曽青峰高等学校の生徒を対象に開催しました。講師は郡内の農業者等で、高校生は木曽郡内の農業の話の聞いたり、自分たちの栽培した野菜などを調理・加工することで、より農業に親しみを感じた様子でした。



【3月】

☆「木曽地域公共交通計画」策定

人口減少や高齢化が進む木曽地域において公共交通を安定して確保するため、広域バス路線（幹線）の運行などの指針となる「木曽地域公共交通計画」を策定しました。



☆木曽川右岸道路の整備 着実に進捗

木曽川右岸道路は南木曽町と大桑村で工事を進めています。阿寺溪谷への観光客の利便性向上にも資する大桑村阿寺地区の700m区間が供用開始。また、大桑村～南木曽町間のトンネル工事に向け、南木曽町十二兼地区に木曽川を渡る工事用の仮橋を設置しました。



阿寺地区



十二兼地区

【4月】

☆南木曽町が交通死亡事故ゼロ3000日を達成

南木曽町では平成28年1月15日を最後に交通死亡事故が発生しておらず、4月2日で交通死亡事故ゼロ3000日を達成しました。日頃からの交通事故防止の取組を称え、県交通安全運動推進本部長（知事）顕彰が授与されました。



【6月】

☆東京大学木曽天文台協力会総会の開催

東京大学木曽観測所が行う天体観測業務に必要な良好な観測環境を保持するため、関係団体が協力していくことを目的に、昭和46年12月に発足し、今年で28回目の開催となる東京大学木曽天文台協力会総会を開催しました。



☆人口減少対策に関する県民との意見交換会の開催（6月～7月）

木曽地域における人口減少の現状を認識し、危機感を共有、自分事として何ができるのかを考えるため、木曽郡内の高等学校2校、専門学校3校の生徒・学生をはじめ、産業各界ほか、合計14団体260名余の皆さまと意見交換を行いました。



☆インバウンド講演会を開催

選ばれる観光地となるために必要な対策を皆様と考える契機とすることを目的に、中山道インバウンドの開拓者として、30年以上にわたって木曾路に海外のお客様を導いてきたWalk Japanのポール クリスティ氏を講師にお迎えし、講演会を開催しました。



☆官民協働により高校生の建設工事現場実習等を実施

地域に根ざし、地域の暮らしを守る建設業の将来を担う若手技術者を育成し、建設業への就労を促進するため、木曾青峰高等学校の生徒を対象に県建設業協会木曾支部会員、県測量設計業協会中信支部会員等と協働し、実習を実施しました。

6/7測量丁張実習、6/24CAD実習、7/10砂防工事現場見学、9/19、10/3刈払機取扱実習、10/16測量技術講習



☆柳ヶ瀬4号砂防堰堤が完成

王滝村柳ヶ瀬地区の濁沢川において、平成27年度から事業を行っていた柳ヶ瀬4号砂防堰堤が完成しました。この砂防堰堤は、平成26年9月27日の御嶽山噴火の際に、上流部に堆積した火山灰を含む土砂等が、豪雨や融雪により土石流となって流下する恐れがあり、下流域の人家や避難路となる道路を保全するために整備したものです。



【7月】

☆国道19号に架かる水管橋の架け替え工事が完成

老朽化が進み、耐震性に問題のあった木曾町日義の国道19号に架かる水管橋の架け替え工事が完成しました。水管橋の架設作業は、通行が少ない夜間に実施し、一時全面通行止めを行うなど近隣住民や通行車両にご迷惑をおかけしましたが、無事に作業を終了することができました。



☆木曾地区酒米現地検討会開催

農業農村支援センターの重点課題として2年目を迎えた「地元産酒米の生産振興」の取組で、7月31日現地検討会を開催しました。今年初めて地元産酒米「山恵錦」を原料に試験醸造する計画で、稲作農家と地元酒造メーカー4社、JA、町村等関係機関を参集し、原料米の生育状況、収穫見込みについて確認し、来年3月には試験醸造した地酒の試飲会を開催することとなりました。



【8月】

☆人口減少対策に関する知事と県民との意見交換会の開催

人口減少下でも活力を維持・向上させるため、木曾地域の若手経営者や女性就農者、町村職員等で構成される木曾地域人口減少対策戦略検討会委員の皆さんと阿部知事が意見交換を行いました。



☆木曾谷・伊那谷フォレストバレーキックオフフォーラムの開催

木や森に関わる教育・研究機関が集中している木曾谷・伊那谷において、人材の育成・創出とイノベーション創出を目指す「木曾谷・伊那谷フォレストバレー」の取組が始まり、8月8日に約200名の参加者を木曾町に迎えキックオフフォーラムが開催されました。



【9月】

☆K I S O起業塾を開催

地域の課題解決や活性化につながる起業を支援するため、木曾地域で起業を考えている方を対象とし、全3回の起業塾を開催しました。講師に長野県立大学教授の秋葉芳江先生を招き、充実した内容になりました。実際に参加した方の中にはすでに地域で活躍している方もおられ、今後のさらなる活躍が期待されます。



☆ツキノワグマ出没警報の発出

ツキノワグマによる人身被害が県内で2週続けて複数発生し、また、木曾地域を含む県内5地域での8月の目撃件数が平常年の2倍以上と増加していることから、人身被害がこれ以上発生しないよう、県民の皆さんに改めて注意していただくため9月9日に「ツキノワグマ出没警報」が発出されました。

☆木曾地区災害時医療救護訓練を実施

大規模災害の発生の際に、関係機関が連携し速やかに医療救護の初期活動ができるよう、木曾病院の院内総合防災訓練と連携した救護訓練を実施しました。

災害時の病院の動きを確認することで町村、木曾広域消防本部、木曾広域連合などの関係機関との連携が深められました。



【10月】

☆第50回衆議院議員総選挙

第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査が実施されました。小選挙区の木曾郡の投票率は、長野県全体の投票率57.47%を大きく上回る69.07%でした。

☆信州伐木チャンピオンシップ2024の開催（木曾谷・伊那谷フォレストバレー関連イベント）

林業就業者の安全意識の向上及び競技を通じた林業就業者間の交流を図るとともに、林業の魅力の発信や新規林業就業者の確保を目的として、日本伐木チャンピオンシップのルールに準拠して、チェーンソー操作技術の正確性や安全動作について評価する競技会が10月19日に選手20名、来場者300名のもと林業大学校で開催されました。



【11月】

☆「ドローンを活用した連携・協力に関する協定」の締結

木曽地域において、災害時の救援物資輸送等の速やかな支援活動にドローンを活用し、また、平常時の広報啓発活動などを促進するため、地域で活動している企業2社と郡内6町村・広域連合との連携協定が締結されました。



☆地元高校生の木曽地域での就業を促進

将来の産業を担う地元高校生へ地元の事業者の活躍や地元で働くことの意義・価値等に関心を持ってもらうことで、木曽地域での就業を促進するため、6月6日に蘇南高等学校、11月8日に木曽青峰高等学校で高校生向け企業説明会を開催しました。



☆第29回木曽地域シニア作品展を開催

木曽地域にお住いのシニア世代が、知識・経験・特技を生かして趣味として制作した作品の展示会を、11月12日・13日に木曽町文化交流センターで開催しました。

この会場での開催は初めてでしたが、146名の方々から337点の出品がありました。来場者も2日間で延べ256名と前年を150名以上上回り、大変盛況でした。



【12月】

☆東京大学木曽観測所50周年記念シンポジウムの開催

木曽町、上松町、王滝村3町村境にある東京大学木曽観測所が開設50周年を迎え、記念シンポジウム、記念式典、記念祝賀会が開催されました。記念シンポジウムではパネルディスカッションのパネリストとして阿部知事が登壇しました。また、県の長年の木曽観測所への支援に対し、阿部知事が代表して、感謝状を受領しました。



(問合せ先)

木曽地域振興局 総務管理・環境課

(担当) 岩野

電話 0264-25-2211 (直通)

F A X 0264-23-2583

E-mail kisochi-somu@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

木曽保健福祉事務所 総務課

(担当) 小林

電話 0264-25-2231 (直通)

F A X 0264-24-2276

E-mail kisoho-somu@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)

木曽建設事務所 総務課

(担当) 川口

電話 0264-25-2237 (直通)

F A X 0264-22-4028

E-mail kisoken-somu@pref.nagano.lg.jp